

SDGs (Sustainable Development Goals)

世界を変えるための17の目標



SDGs



尼崎市



「誰一人取り残さない  
社会の実現に向けて」

Leave no one behind

Amagasaki SDGs 2023ver.

尼崎を変えるための13の施策  
ひと咲き まち咲き あまがさき

# 尼崎市におけるSDGsの取組

## SDGs

(Sustainable Development Goals)

「誰一人取り残さない社会の実現」を基本理念に、「持続可能な開発目標」として国連で決まった全世界共通の17の目標（ゴール）



## 尼崎市

(Amagasaki City)

みんながめざす「ありたいまち」「ひと咲き まち咲き あまがさき」の実現に向け、13の施策を展開



第6次尼崎市総合計画



### SDGsと尼崎市。

誰もが自分らしく暮らせる社会の実現に向けて、スケールは違うものの、その目指すべき方向性は同じ。

SDGsの視点から、総合計画の施策体系や取組について整理しパッケージングした「**尼崎版SDGs**」を作成しました。

17のゴールすべてに包括的に取り組めるのは、自治体の強み！

尼崎市は、総合計画の推進を図ることでSDGsの達成を目指しています！

### 尼崎版SDGsの構成（見方）

	<p><b>1</b> あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ</p>	<p><b>2</b> ターゲットNo 1.1, 1.2, 1.3, 1.5</p>
<p>尼崎市の主な取組</p>	<p><b>3</b> 自治体は、貧困で生活に苦しむ人々を支援するための重要な役割を果たします。</p> <p>保健・福祉の連携強化の取組 暮らしに困っている方々は、保健・福祉分野にまたがる複岐な課題を抱えている。各分野の専門機関等に 保健福祉センターを設置し、保健と福祉の連携</p> <p>就労等による自立への支援 しごと・くらしサポートセンター尼崎では、課題を抱え、仕事探しや暮らしにお困りの方や</p>	<p><b>1</b> SDGsに掲げられているゴール</p> <p><b>2</b> SDGsの17のゴールを構成する169のターゲットのうち、<b>該当するターゲットNo.</b></p> <p><b>3</b> 国際的な地方自治体の連合組織であるUCLG (United Cities &amp; Local Governments) や建築環境・省エネルギー機構が示す<b>自治体行政が果たし得る役割の要約</b></p> <p><b>4</b> SDGsのゴールに関連する<b>総合計画に基づく主な取組</b></p> <p><b>5</b> SDGsのゴールに関連する市民、事業者も含めた<b>“尼崎市”のトピックス</b></p>
<p>トピックス</p>	<p><b>5</b> 切れ目のない相談支援体制 尼崎市では、市内南北2か所に保健福祉センターを設けています。保健福祉センターには保健と福祉部門的に配置するとともに、同センター内に「しごとサポートセンター尼崎」を設置する中で、総合的に行っています。 また、2019（令和元）年10月にあまがさきむらに「いくしあ（子どもの育ち支援センター）」を設置し、保健・福祉分野との連携のもと、成長段階に合わせた切れ目のない相談支援体制を構築しています。</p>	

1 貧困をなくそう



## あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

ターゲットNo.

1.1, 1.2, 1.3, 1.5

自治体は、貧困で生活に苦しむ人々を支援するための重要な役割を果たします。

### 尼崎市の主な取組

#### 保健・福祉の連携強化の取組

暮らしに困っている方々は、保健・福祉分野にまたがる複数の課題を抱えていることも多いことから、市内南北2か所に保健福祉センターを設置し、保健と福祉の連携を強化する中で総合的な支援を行っています。

#### 就労等による自立への支援

しごと・暮らしサポートセンター尼崎では、経済的な問題だけではなく、健康上の問題や社会的な孤立など様々な課題を抱え、仕事探しや暮らしに困りの方、またはその家族からの相談に応じ、必要な支援を行っています。

### トピックス

#### 切れ目のない相談支援体制

尼崎市では、市内南北2か所に保健福祉センターを設置しています。保健福祉センターには保健と福祉部門の職員を一体的に配置するとともに、同センター内に「しごと・暮らしサポートセンター尼崎」を設置し、総合的な支援を行っています。

また、「いくしあ（子どもの育ち支援センター）」では、保健・福祉・教育分野の連携のもと、成長段階に応じた切れ目のない相談支援体制を構築しています。



総合的な相談支援を行う保健福祉センター

2 飢餓をゼロに



## 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

ターゲットNo.

2.1, 2.2, 2.3, 2.4

自治体は、自然資産を活用して農業などの食料生産の支援を行うことができます。また、都市農業を含む食料生産活動を推進し、安全な食料確保に貢献することができます。

### 尼崎市の主な取組

#### 尼崎市認定農業者制度などによる市内都市農業への支援

本市では認定農業者が着実に増加中。都市農業活性化推進事業など、農業従事者の安定した経営につながるような支援を行っています。

#### 「子ども食堂」を通じた地域での居場所づくりへの支援

「子ども食堂」が市内で活発に展開中。地域では学校と連携した取組も進み、校内に居場所カフェを設置する学校もあります。

#### 学校給食の活用などによる食育の推進

学校給食では、市内産の米や野菜（あまやさい）を活用するなど、食育を推進しています。また、望ましい食習慣の形成を図るため中学校給食献立コンクールを実施しています。

### トピックス

#### 都市農業の役割

本市は市域の約2%が農地で、260戸の農家が農業を営んでいることを知っていますか。都市の農業は消費地に近いため新鮮で安全な農作物を供給でき、さらには農地は多くの役割を果たす、まちになくてはならないものです。



イチゴの高設栽培をする「ささはら菜園」→

←行列のできるコテラトマト



#### 学校給食の役割

学校給食の役割は、単に昼食を提供するということだけではなく、栄養バランスの取れた豊かな食事を提供することで、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達や健康の保持増進、体位の向上を図っています。

また、日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を身につけるなど、教育上意義深いものがあります。





3 すべての人に  
健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、  
福祉を推進する

ターゲットNo.

3.1, 3.2, 3.3, 3.4, 3.5,  
3.6, 3.7, 3.9, 3.a

自治体は、国民皆保険制度の運営や都市環境の改善などにより、住民の健康維持・改善を支援することができます。

尼崎市の  
主な取組

### うけとめ・つなげる相談支援（重層的支援）の推進

複雑・複合化した支援ニーズに対応するため、保健福祉センターや地域振興センター等の様々な支援機関の役割分担等による  
伴走支援を行っています。また、ひきこもり等の対象者への訪問支援や社会とのつながりを作るための参加支援を一体的に取り  
組んでいます。

### 高齢者の生きがいづくりや健康づくりの支援

介護予防・フレイル対策として、「生きがい就労」を提供できる民間企業と、「就労的活動」を行いたい高齢者とのマッチン  
グ等を実施し、個人の特性や希望に合った「生きがい就労」をコーディネートするなどの取組を進めています。

トピックス

### あなたも「健診すすめ隊」!?

尼崎市では「健診すすめ隊」のイメージキャラクター  
「すすめズメ」と仲間達が市内各所で皆さんに健診を  
呼びかけています。誰かに健診をすすめた時からあなた  
も「健診すすめ隊」の隊員です。みんなですすめっこし  
て、健診を受けましょう。



健診すすめ通信・健診べんり帳



4 質の高い教育を  
みんなに

すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、  
生涯学習の機会を促進する

ターゲットNo.

4.1, 4.2, 4.3, 4.4, 4.5,  
4.6, 4.7, 4.a

自治体は、教育の中でも特に義務教育等の初等教育において大きな役割を果たすことができます。  
また、住民の学びを推進するため、学校教育と社会教育の両面における取組を実施できます。

尼崎市の  
主な取組

### あまっ子ステップ・アップ調査事業等による学力向上に向けた取組

「あまっ子ステップ・アップ調査事業」を通して得た学力や学習状況に関する各種データ、情報について、「尼崎市学びと育ち  
研究所」において分析し、個々に応じた対策や非認知能力の育成等につなげます。また、家庭環境や経済的な差が学力の差につな  
がらないよう、誰一人取り残さない学力向上に取り組むとともに、タブレットや電子黒板を導入し、ICTを活用した授業の充実を  
図ります。

### 特別な教育支援を必要とする児童生徒への支援の充実

小・中・高等学校で生活介助が必要な児童生徒に対して、生活介助員を増員します。また、小・中学校においては、特別支援教  
育支援員を1校に1人ずつ配置し、発達特性等により学習内容の理解や学校生活に困難がある児童生徒への支援を充実します。

トピックス

### 学びと活動の拠点

学びと活動の拠点として、市内  
12カ所の生涯学習プラザを設置し、  
市民全体のシチズンシップの向上  
に取り組んでいます。

また、生涯学習プラザには、地  
域とともに考え、行動する地域担  
当職員を配置し、地域の学びと活  
動を支えています。



### みんなのサマーセミナー



みんなのサマーセミナーは本物  
の学校をお借りして、まちの人が  
センセイになりセイトにもなる学  
校ごっこイベントです。

2022(令和4)年度から現地開催  
を再開しました。2日間で約220の  
授業を開講し、延べ約4,100人の  
方々にご来場いただきました。



## ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメント(能力強化)を図る

ターゲットNo.

5.1, 5.2, 5.3, 5.4, 5.5, 5.b, 5.c

自治体は、女性や子ども等の弱者の人権を守ることができます。  
また、行政や社会全体にジェンダー平等を広げることができます。

### 尼崎市の主な取組

#### 多様性(ダイバーシティ)を認めあう社会の実現に向けた取組

性的マイノリティや性の多様性を尊重する取組を推進するため、2020(令和2)年1月から「パートナーシップ宣誓制度」や、当事者団体との共催による「性的マイノリティみんなの居場所づくり事業」の運営や電話相談を実施するとともに、ALLY(アライ)養成に取り組んでいます。また、性的マイノリティなどの様々な悩みを抱える青少年にはユース交流センターでも相談を受け付けています。

#### 女性のエンパワーメントの推進

女性の活躍推進に向け、本市附属機関の女性委員の登用率や女性職員の管理職の比率の向上に取り組んでいます。  
女性センター・トレピエを中心として、誰もが性別にとらわれず、自分らしくいきいきと充実した生活を送る男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進しています。

### トピックス

#### 「ALLY(アライ)」ってなんだ??

ALLY(アライ)とは、多様な性自認や性的指向に関する社会課題や現状を知り、その解決に向けて共に歩む、歩もうとする人のことをいいます。

尼崎市は、性の多様性について学び、寄り添う気持ちを持つ市民・市内事業者へALLYステッカーを配付します。

ALLYが増えることは、性的マイノリティ当事者の生きづらさの軽減につながります。個人、店舗、事業所それぞれがALLYになることで、さらに性の多様性の理解促進に向けた輪が広がります。



職員証にALLYステッカーを張り付けるなど、普及啓発に努めています。



## すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

ターゲットNo.

6.1, 6.2, 6.3, 6.4, 6.6, 6.b

自治体は、水道事業を実施し、住民に安全で清潔な水を届けることができます。  
また、水源地の環境保全を通して、水質を良好にする取組ができます。

### 尼崎市の主な取組

#### 安全・安心な水道水の供給

尼崎市は、安全・安心な水道水を高度浄水処理によりお届けしています。この水道水は、「水道GLP」の認定を受けた検査によって、すべての水質基準を満たしていることを確認しています。

#### 上下水道施設の計画的な更新

安定して水道水をお届けし、確実に下水を集めるために、全国的に早くから上下水道事業を始めた尼崎市では、それぞれ1,000km以上の水道管と下水道管を整備しており、優先順位を定めて計画的かつ効率的に更新を進めています。また、建築物等についても、更新や改修の時期にあわせて、耐震化に取り組んでいます。

### トピックス

#### GLPって??

GLP (Good Laboratory Practice)とは優良試験所規範の略。

医薬品や食品衛生の分野でいち早く導入されたもので検査機関による検査結果が正確であることを保証する仕組みです。

尼崎市は「水道GLP」の認定を受け、日々の水質検査を行っています。

#### 上下水道のビジョン

「尼の水を次の世代へ」、「尼の下水道を次の世代へ」を基本理念に、どちらも40年以上先の将来像を見据え、10年間の取り組むべき計画を策定しています。

両事業とも目的の1つに「災害から守り備える」を掲げ、応急給水拠点(水道)及びマンホールトイレ(下水道)の整備を進めています。



あますいビジョン



あまがさき下水道ビジョン





## すべての人に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

ターゲットNo.

7.1, 7.2, 7.3, 7.a

自治体は、公共建築物への省/再エネの推進、住民の省/再エネ対策への支援などにより、持続可能エネルギーの利用を促進することができます。

### 尼崎市の主な取組

#### ごみ処理施設の廃棄物発電を活用したエネルギーの地産地消の取組

2021(令和3)年度から、ごみ処理施設であるクリーンセンターの廃棄物発電から発生する余剰電力の一部を小売電気事業者等を紹介し、CO<sub>2</sub>排出係数ゼロのクリーンな電力を市内事業者積極的に活用してもらうなど、脱炭素経営に向けた取組を支援しています。2023(令和5)年3月末時点で、34社の市内事業者への電力供給が決定しています。

#### 省エネ型建築物・設備の普及

脱炭素社会の実現に向け、住宅の一次エネルギーの年間消費量がおおむねゼロになる住まい（ZEH）や太陽光発電及び蓄電池の導入支援を行っています。また、2020(令和2)年度からは、マンションや街区内のエネルギー管理を推進するとともに、環境配慮行動の促進や地域経済の活性化など、付加価値のあるまちづくりを進めています。

### トピックス

#### 再生可能エネルギーの導入促進

再生可能エネルギーの普及促進に向け、公共施設の屋根に太陽光発電設備を設置する、いわゆる屋根貸し事業を実施しています。

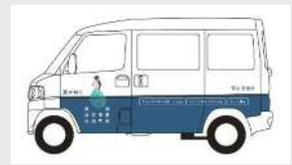
また、PPAモデルといった民間の新たなビジネスモデルを活用し、公共施設に太陽光発電設備、蓄電池等の導入を順次、進めていきます。



クリーンセンターの太陽光発電

#### 公用車へのエコカー導入の取組

脱炭素社会の実現に向け、今後、公用車のエコカーへの転換と保有台数の削減に取り組み、2040年までにエコカー導入率100%を目指します。



充電器の整備が可能な施設から順次エコカーに置き換え予定



## すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する

ターゲットNo.

8.1, 8.2, 8.3, 8.4, 8.5,  
8.6, 8.7, 8.8, 8.9

自治体は、地域経済の活性化や雇用の創出に関与することができます。また、勤務環境の改善や制度整備を通じて労働者の待遇を改善することができます。

### 尼崎市の主な取組

#### 「事業者・起業したい方」と「働く方・働きたい方」への支援の充実

起業・創業にかかる支援制度や就労・キャリア相談の実施等とあわせて、ビジネスマッチング情報、採用・求人情報、各種お知らせ・お役立ち情報等を集約したポータルサイト「アマポータル」を効果的に運用し、市内企業のPRを行い、販路拡大や雇用就労の促進を支援します。

#### 脱炭素にチャレンジする企業の支援と魅力発信

市内中小企業の脱炭素経営を推進するため、省エネ診断による企業のエネルギー消費の現状把握から運用改善・省エネルギー設備等の導入までを切れ目なく伴走型で支援します。

### トピックス

#### あま咲きコイン

あま咲きコインは、尼崎市内加盟店で1ポイント=1円で購入することができる電子地域通貨です。SDGsの可視化ツールでもあり、SDGsの達成につながる行動であま咲きコインが貯まります。

また、獲得したSDGsポイント数でランキング付けをしており、アプリ内のカード色がゴールド・シルバー・ブロンズと変化します。



#### 尼崎創業支援オフィスアビーズ (ABiZ)

ABiZとは「Amagasaki で BiZ (ビジネス) を始めませんか」という呼びかけ、並びに頭と末尾のAとZとで「出発」から「未来」へ向かうことを表しています。

ABiZではこれから創業を目指す方、新たに事業を始められた方などに対し、創業や事業に関する情報収集、知識の習得、異業種交流をお手伝いします。



ABiZ





## 強靱(レジリエント)なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

ターゲットNo.

9.1, 9.2, 9.4, 9.5, 9.b

自治体は、地域のインフラ整備に大きな役割を果たすことができます。また、地元企業への支援などを通じて、新たな産業やイノベーションの創出にも貢献することができます。

### 尼崎市の主な取組

#### ものづくりのまち尼崎

尼崎市は、阪神工業地帯の中核を担う「ものづくりのまち」として全国有数の製造業の集積地であり、これら製造業の活性化を図るため、近畿高エネルギー加工技術研究所（AMPI）をはじめ関係支援機関と連携し、技術力及び生産性向上を支援しています。

#### あまレポ（ICT技術を用いた道路維持管理）の導入

2020(令和2)年度からICT技術・機械学習技術を活用したシステム（MyCityReport）を導入しています。このシステムを活用し、効率的かつ計画的な道路維持管理に努めるとともに、産官学の連携によるシステム開発・改善の取組に参加しています。

### トピックス

#### あまがさきSDGsパートナーを募集

SDGs達成に資する取組を行う企業や団体を、「あまがさきSDGsパートナー」として登録・周知しています。

また、パートナーと連携する市内中学校等の生徒向けSDGsの学習支援活動や、パートナー同士の交流会の開催など、市内のSDGs達成に向けた取組を推進しています。



#### あましんグリーンプレミアム

尼崎信用金庫が主催する「あましんグリーンプレミアム」では、環境改善に対する地域の皆様の優れた技術や製品、取組やアイデアにスポットを当て表彰しています。2020(令和2)年度からは、SDGs特別賞が創設されました。

尼崎信用金庫では、「あましんSDGs宣言」を公表しており、環境保全の持続的な取組を重点項目の一つとして、様々な環境活動に継続的に取り組んでいます。



第12回あましんグリーンプレミアム授賞式



## 国内および国家間の格差を是正する

ターゲットNo.

10.2, 10.3, 10.4

自治体は、少数意見を吸い上げながら、差別や偏見の解消を推進する上で主導的な役割を担うことができます。

### 尼崎市の主な取組

#### 障害者の社会参加への支援と情報支援の充実

障害のある方や支援者などと共に、地域交流の場となる「市民福祉のつどい（ミーツ・ザ・福祉）」を開催し、障害のある方の地域活動と社会参加を支援しています。また、「尼崎市人権文化いきづくまづくり条例」や「尼崎市手話言語条例」を制定し、障害のある方への意思疎通支援の充実や差別の解消などに向けた取組を進めています。



#### 外国人総合相談センターの運営など多文化共生社会の推進

日常生活における困り事や在留資格の内容等を気軽に相談できるよう、2021(令和3)年5月、市役所本庁舎に「外国人総合相談センター」を開設し、本市で暮らす外国人のニーズ把握や有用な情報の発信などを行っています。

また、同センターを核として法務省出入国在留管理庁をはじめとする関係機関との連携強化を図りながら、多文化共生社会の推進に取り組んでいます。

### トピックス

#### 尼崎市で生活する外国人は何人??

尼崎市では、約12,000人の外国人が生活していますが、出入国管理及び難民認定法などの改正により、本市の外国人人口は、増加傾向にあります。

国籍の内訳をみると、韓国・朝鮮、ベトナム、中国の順に多く、近年、ベトナムやインドネシア、ネパール、バングラデシュ等の東南アジアや南アジアの方が増加しています。





## 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱(レジリエント)かつ持続可能にする

ターゲットNo.

11.1, 11.2, 11.4, 11.5, 11.6, 11.7

自治体は、包括的で、安全かつ強靱で持続可能なまちづくりにおいて、大きな役割を果たすことができます。

### 尼崎市の主な取組

#### エリアブランディングの取組の推進

エリアブランディングの推進に当たっては、鉄道駅周辺を中心としたエリアごとの特色を生かした取組を、ハード・ソフトの両面から多様な主体と連携しながら進めています。特に尼崎市のイメージを形成するエリアのひとつである阪神尼崎駅周辺では、駅前にある中央公園を市内外から人が集い様々な形で活用される場としてリニューアルし、中央公園を中心とした周辺のまちづくりに取り組んでいます。

#### マナー向上の取組の推進

誰もが気持ちよく暮らすことができるまちの実現に向けて、ファミリー世帯の転出要因の一つとなっている「たばこ」、「ごみ」、「自転車(交通安全)」のマナーについて、日常生活の様々な場面で啓発などを行い、マナーに対する理解と意識の向上に向けた取組を進めています。

### トピックス

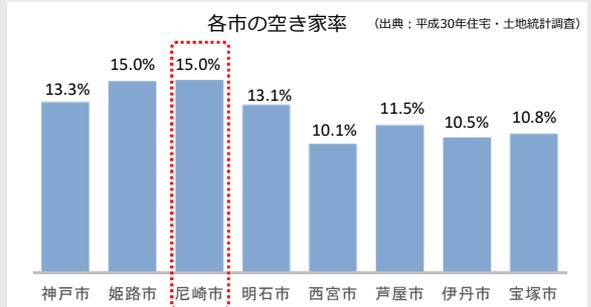


#### 尼崎市に空き家は多いの??



住宅・土地統計調査によると、近隣市と比較し、尼崎市の空き家率は高い傾向にあり、今後もさらに増加すると予想されています。

尼崎市では、空き家となる前から住まいについて考えてもらえるよう、「私と住まいのエンディングノート」を株式会社ジチタイアド(福岡市)と協働で作成しています。ご自身の思いや住まい・財産のことなど、書き進めるうちに自然と整理できる内容となっているためぜひ活用ください。



## 持続可能な消費と生産のパターンを確保する

ターゲットNo.

12.1, 12.3, 12.4, 12.5, 12.6, 12.7, 12.8, 12.b

自治体は、省エネや3Rの徹底など、市民対象の環境教育などを行うことでこの流れを加速させることができます。

### 尼崎市の主な取組

#### リデュースに重点をおいたごみ減量・リサイクルの推進

食品ロスや使い捨てプラスチックの削減などのリデュースに重点をおいた取組を推進するとともに、家庭ごみ・事業系ごみの正しい分別・出し方の徹底に向けた取組を実施しています。

#### 給水機設置によるマイボトルの普及促進

市役所や市内各事業所、観光施設等35か所(2023(令和5)年3月末時点)に給水機を設置し、市民が自由に利用できる給水スポットとすることで、マイボトルの普及促進を通じたプラスチックごみの削減を図っています。また、NATS(西宮市・尼崎市・豊中市・吹田市の近隣中核市4市)と阪急電鉄(株)との実証実験をきっかけに、同市内にある4つの駅構内に給水機を設置します。

### トピックス

#### フードドライブってなんだ??

食べきれそうにない食品を、必要としている団体等に寄付する活動のことで、食品ロス対策の一環としても関心が高まっています。

市内のスーパー、社会福祉協議会、NPO法人事務所などでフードドライブに参加することができますので、ぜひ、ご参加ください。

実施場所の詳細については、市ホームページをご確認ください。



尼崎市内のフードドライブ実施場所等



実施団体	実施場所
尼崎市社会福祉協議会	南武庫之荘3-24-5
NPO法人あまがさき環境オープンカレッジ	南塚口町2-1-2-402
スーパーマーケット	市HPでご確認ください



## 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

ターゲットNo.

13.1, 13.2, 13.3

自治体は、従来の温室効果ガス削減といった緩和策だけでなく、気候変動に備えた適応策の検討を行うことができます。

### 尼崎市の主な取組

#### 脱炭素社会の実現

2021(令和3)年6月の尼崎市気候非常事態行動宣言では、2050(令和32)年までに脱炭素社会を実現するため、2030(令和12)年の二酸化炭素排出量を2013(平成25)年比で50%程度削減することを目指しています。



PRポスター

#### 総合治水対策基本ガイドラインに基づく取組の推進

地域の約3分の1が海拔0メートル以下という特徴がある本市では、これまでの治水対策である「河川下水道対策」に加え、雨水を一時的に貯留・地下に浸透させる「流域対策」、浸水した場合の被害を軽減する「減災対策」を効果的に組み合わせ実施する「総合治水」に取り組んでいます。

#### 脱炭素先行地域に選定されました

尼崎市と阪神電鉄(株)が共同提案した「阪神大物地域ゼロカーボンベースボールパーク整備計画」が、環境省の実施する脱炭素先行地域に選定されました。

ゼロカーボンとは、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出量を全体で実質ゼロにすることです。

同計画では、2025(令和7)年2月に小田南公園に移転してくる阪神タイガースのファーム施設や大物公園、大物川緑地、近隣の阪神電鉄(株)の駅で排出されるCO<sub>2</sub>を実質ゼロにすることを目指します。



- ①大物駅 ②大物川緑地 ③大物公園
- ④室内練習場
- ⑤選手寮兼クラブハウス
- ⑥タイガース練習場
- ⑦タイガース野球場
- ⑧小田南公園野球場(市民球場)

### トピックス



## 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

ターゲットNo.

14.1, 14.2

自治体は、海洋汚染の主な原因が陸上の活動に起因していることから、汚染対策を講じることができます。

### 尼崎市の主な取組

#### 尼崎運河を活用した水質浄化の取組

自然と人と産業との良好な共生関係を目指し、兵庫県、地域住民、周辺企業などと尼崎運河再生プロジェクトを協働で進めています。

#### 脱プラの推進

市内で実施するイベント主催者に対して、プラスチック代替製品のレンタル又は購入費用の一部を補助することにより、プラスチック代替製品への転換を促すとともに、市民及び事業者におけるプラスチックごみ削減の取組拡大と意識啓発を図ります。

#### 大阪湾の水環境を守る下水処理

大阪湾で定められた環境保全目標の達成に向けて、通常の下水処理に加えて、窒素やリンを取り除き、より水質改善を図る高度処理設備の導入を東部浄化センター及び北部浄化センターで進めています。

### トピックス

#### フィッシュ・シェアリングの取組

防波堤「武庫川一文字(通称)」へ釣り人を渡す渡船会社の武庫川渡船や、尼崎市立魚釣り公園では、釣り人から釣れた魚の余剰分を提供してもらい、地域の子ども食堂に提供したり、食育活動を実施している福祉団体などに提供する「フィッシュ・シェアリング」に取り組んでいます。



釣り人から提供された魚



釣り人から無償提供された魚を子ども食堂で調理・提供



陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、  
森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の  
阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

ターゲットNo.

15.1, 15.2, 15.5,  
15.8, 15.9

自治体は、自然生態系の保護と土地利用計画は密接な関係があることから大きな役割を果たすことができます。  
また、国や周辺自治体、その他関係者と連携することで広域的な取組ができます。

尼崎市の主な取組

森林環境譲与税の活用による木育の推進

幼児たちが「遊び」を通じて木への親しみや森林の大切さの理解を深めることを目的として、尼崎市内の幼稚園・保育所などへ兵庫県産木材を使用した玩具や紙芝居を配付します。

尼崎21世紀の森づくりの推進

尼崎臨海地域を魅力と活力あるまちに再生するため、人々の暮らしにゆとりと潤いをもたらす水と緑豊かな自然環境の創出による環境共生型のまちづくりを目指して、兵庫県が「尼崎21世紀の森構想」を2002(平成14)年3月に策定しました。

現在も、尼崎市の臨海地域では、多様な主体により、100年がかりの森づくりのプロジェクトが進んでいます。

トピックス

「森の会議」

尼崎21世紀の森では、100年という  
壮大なプロジェクトの中で、ひとりひとりが主人公となって、「こんなことがしたい!」「こんな場所が欲しい」  
などを持ち寄り、実現に向けて話し合  
う、みんなのための、みんなの会議  
「森の会議」が月に1回開催されてい  
ます。



森の会議の様子

兵庫県産木材の活用

公共施設の木質化・青少年への木育啓発教育の実施  
のため、立花南生涯学習プラ  
ザの新築工事において仕  
上げ材の一部に兵庫県産木  
材を使用しています。



兵庫県産木材を活用した  
立花南生涯学習プラザ



持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、  
すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、  
あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な  
制度を構築する

ターゲットNo.

16.1, 16.2, 16.3, 16.4,  
16.5, 16.6, 16.7, 16.9,  
16.10, 16.b

自治体は、平和で公正な社会を作る上で大きな責務を負っています。  
地域内の多くの市民の参画を促して参加型の行政を推進し、また、暴力や犯罪を減らすのも自治体の役割です。

尼崎市の主な取組

いくしあと関係機関の連携による子どもの成長段階に応じた切れ目ない支援

いくしあ(子どもの育ち支援センター)では、児童虐待や不登校、発達障害など、課題や困難を抱える子どもたちと子育て家庭に寄り添い、保健・福祉などの関係機関と連携しながら、切れ目なく、総合的かつ継続的な支援を行っています。また、「いくしあ」と一体となった尼崎らしい児童相談所の設置に向けた準備を進めています。

デジタルアーカイブの推進による公文書館機能の更なる充実

2022(令和4)年4月に施行された「公文書管理等条例」に基づき、市民の知る権利を尊重するため、歴史的公文書の適切な保存等に努めていきます。加えて、MLA(博物館(Museum)、図書館(Library)、公文書館(Archives))の連携を図りながら、デジタルアーカイブを推進し、公文書館等の資料への自由なアクセスを実現していきます。

トピックス

尼崎市人権文化いきづくまちづくり計画

2021(令和3)年6月に策定した  
「尼崎市人権文化いきづくまちづ  
くり計画」については、「尼崎市  
人権文化いきづくまちづくり条  
例」に基づき、毎年度、実施状況  
を取りまとめ、概要を公表してい  
ます。



いくしあ(子どもの育ち支援センター)

あまがさき・ひと咲きプラザにオープン  
した「いくしあ」では、課題や困難を抱え  
る子どもたちと子育て家庭に寄り添い、  
様々な関係機関が連携しながら、切れ目な  
く継続的に支援を行っています。

また、プラザには、青少年の居場所・交  
流の場となる「アマバラリ」、「あまぼー  
と」も設置しています。



いくしあ



## 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、 グローバル・パートナーシップを活性化する

ターゲットNo.

17.14, 17.15, 17.16,  
17.17

自治体は、公的／民間セクター、市民、NGO/NPOなど多くの関係者を結び付け、パートナーシップの推進を担う中核的な存在です。

### 尼崎市の主な取組

#### 基金を活用したNPO法人への支援

NPO法人が行う公益的な事業に共感し、応援するために市民や企業等から寄せられた寄付金を、NPO法人に交付することにより、地域の課題解決や魅力向上に向けた取組を促進しています。

#### 市民提案制度をはじめとする様々なツールを活用した協働の推進

尼崎市では、事業者や市民活動団体からの提案を基に、様々な手法によって提案の実現を図る「市民提案制度」をはじめとした協働のツールを整備・運用し、協働の推進を図っています。2022(令和4)年度には、協働の取組への参画のきっかけとなるよう、こうした様々なツールについて事例とともに紹介した「協働ガイドブック」を改訂しています。

### トピックス

#### 尼崎市自治のまちづくり条例

尼崎市では、市民、事業者、行政等の多様な主体が協力し、より良いまちをつかっていくために、みんなが共有できるまちづくりのルールとして、市制100周年となる2016(平成28)年に「尼崎市自治のまちづくり条例」を制定しました。

自治のまちづくりの推進に向けて、各小学校区を担当する地域担当職員との配置や地域の学びや活動の拠点となる市内12か所の「生涯学習プラザ」の運営に加え、市職員が、地域コミュニティにおける活動の活性化のためつながりづくりや活動の支援などに取り組んでいます。



↑中央北生涯学習プラザ

←尼崎市自治のまちづくり条例読本

# あま咲きコイン

2021年7月より本格稼働！  
本市独自の電子地域通貨「あま咲きコイン」



## SDGsの達成につながる行動でポイントがたまる！

健康づくりや環境に優しい活動、ボランティア活動など、SDGsの達成につながる市の事業などに参加すると「あま咲きコイン」がたまります。

## 尼崎の経済をもっと元気に！

ためたポイントや、現金・クレジットカードでチャージしたポイントを、市内取扱加盟店で利用することで、尼崎の経済の活性化につながります。

ためればSDGsの達成に貢献！

使えば尼崎の経済をもっと元気に！

「あま咲きコイン」ぜひこの機会にご利用ください

専用アプリや専用カードを利用した  
キャッシュレス決済サービスです。



# 総合計画×SDGs (総合計画の13施策とSDGsの17のゴールの関係)

## 総合計画の13施策・施策目標

## SDGsの17のゴール

### 【施策 1】 地域コミュニティ・学び

まちにかかわるすべての人が、ともに学び、考え、お互いの力を出し合う自治のまちづくりを推進することで、まちへの愛着を深め、魅力あふれるまちをめざします



### 【施策 2】 人権尊重・多文化共生

誰もが人権侵害を受けず、権利を行使できる主体として認められ、日々のくらしのなかで尊重されていると実感できるまちをめざします



### 【施策 3】 学校教育

社会の変化に主体的かつ柔軟に他者と協働しながら対応する力、知識や技能を活用して課題を解決する力、持続可能な新しい社会を創造する力をはぐくむ教育をめざします



### 【施策 4】 子ども・子育て支援

子どもの笑顔が輝くまちをめざします



### 【施策 5】 地域福祉

互いに尊重し、つながり支えあい、安全・安心に“ともにいきる”まちをめざします



### 【施策 6】 障害者支援

誰もがその人らしく、自立して安心して暮らすことができる共生社会をめざします



### 【施策 7】 高齢者支援

高齢者が尊厳を保ち、安全・安心に健康で多様な暮らし方ができるささえあいのまちをめざします



### 【施策 8】 健康支援

市民の健康寿命の延伸をめざします



### 【施策 9】 生活安全

防犯、交通安全など身近な安全・安心が実感できるまちをめざします



### 【施策10】 消防・防災

災害などの危機事象に備え、市の消防・防災体制を整備するとともに、市民・事業者等との連携により、迅速かつ的確に対応する高い地域防災力を持つまちをめざします



### 【施策11】 地域経済・雇用就労

社会や時代の変化に柔軟に対応し、地域経済の持続的な発展を推進することで市民生活の向上をめざします



### 【施策12】 環境保全・創造

市民・事業者等と一体となって環境問題に取り組み、良好な環境を次の世代へ継承します



### 【施策13】 都市機能・住環境

くらしと産業を支える都市基盤をもとに、快適で魅力あるまちと住まいの実現をめざします

